

軽費・養護老人ホーム経営セミナー

－ 福祉的居住の機能強化に向けた経営戦略 －

主催：独立行政法人福祉医療機構

〈開催日〉 平成26年 2月 6日 (木)

〈会 場〉 毎日新聞ビル・オーバルホール (大阪市北区梅田)

平成25年8月、政府の社会保障制度改革国民会議で報告書が取りまとめられ、医療・介護・子育てなど社会保障の幅広い分野について改革の方向性が示されました。このなかで、介護分野において、地域包括ケアシステムづくりの推進や軽度の要介護者を含めた低所得者の高齢者の住まい確保の推進も求められています。

一方、近時急速に整備が進むサービス付き高齢者住宅との競争のなかにおいて、軽費老人ホームは居住型施設と福祉施設の役割を併せ持つという特徴を十分に発揮して、住まいや生活支援、介護・予防という地域包括ケアの重要な担い手となっていくことが期待されます。

また、養護老人ホームは、かつての経済的理由により利用する方を支える役割から、社会適合困難者や虐待を受けた方、高齢になった障がい者を有する方などを支える「セーフティネット」としての役割が重要となっています。しかしながら運営費財源の地方移譲がされた以降、施設経営も厳しさが増しているという指摘もあります。

近時、社会福祉法人のあり方についての様々な指摘がなされるなか、軽費老人ホームや養護老人ホームは社会福祉法人でなければ担えない地域の安心の拠点であり、今後は施設運営のみならず、より一層地域を支える独自の機能の開発・展開が重要ではないかと考えられます。

そこで、この度のセミナーでは、これら施設の課題を踏まえ、これからの地域の生活支援拠点として進むべき方向について、皆様とともに考えて参りたいと思います。

09:30~10:00	受付 (30分)
10:00~10:10 (10分)	オリエンテーション 開会あいさつ 独立行政法人福祉医療機構
10:10~11:30 (80分)	「介護保険制度改革と軽費老人ホームの見直し」 〈講師〉 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐 懸上 忠寿 氏
11:30~11:40 (10分)	「福祉貸付事業の概要について」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 大阪支店 福祉審査課
11:40~12:40	休憩 (60分) ※ 融資相談コーナー設置
12:40~13:50 (70分)	「地域包括ケア時代の軽費・ケアハウスの機能と役割を考える」 〈講師〉 一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会 理事長 川西 基雄 氏
13:50~14:00	休憩 (10分)
14:00~15:10 (70分)	「生活困窮者に対するこれまでの取組みとこれからのすべきこと ～制度の狭間の人を支える重層的支援の取組み～」 〈講師〉 社会福祉法人 ナザレ園 法人事務部長 菊池 譲 氏
15:10~15:20	休憩 (10分)
15:20~16:30 (70分)	「これからの社会福祉法人のガバナンス ～内部留保論から地域貢献論へ～」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営支援室 経営企画課長 千葉 正展

※なお、講師および講義内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。